



皆様こんにちは、土木部に所属しています村上輝です。
現在私は、平成30年7月の西日本豪雨で甚大な被害を被った宇和島市吉田町法津与村井地区にて斜面が崩壊した法面の崩壊対策工事を行っています。

当初は、崩壊した斜面の大きさに驚き、設計図を見て崩落した土量に驚愕しました。
当該地域は埋蔵文化財包蔵地区ということで人力掘削となっていました。愛媛県と教育委員会で協議して頂いた結果、機械掘削を了承していただきました。しかし、通常の機械掘削のように重機の作業床を確保することが出来ないため、高所機械掘削(ロック・クライミング掘削)という重機を頑丈なワイヤーで斜面に吊り下げ掘削する工法を採用いたしました。現在は、掘削も完了し、法枠のモルタル吹付の真つ最中で、モルタルの現場配合の品質管理に従事し、砂の表面水試験や塩化物量の測定を行っています。

この現場に従事して、甚大な被害を被ったにも関わらず地元皆さんの明るいことに驚いています。地域の復興に微力ながらお手伝い出来ることを糧に精進し行きたいと思っております。



高所機械掘削
(ロック・クライミング掘削)



工事概要

工事名：緊急砂第9号の1(急)与村井地区
災害関連緊急急傾斜地崩壊対策工事

施工箇所：愛媛県宇和島市吉田町

施工期間：令和元年8月1日～令和2年6月30日

工事内容：作業土工1380m³、法枠工2522m²、
転落防止柵100m

土木部 村上輝

コラム 「ピンチをチャンスに!!」
営業部 貴田 康弘

皆様こんにちは。営業部営業課の貴田です。最近世界で猛威を振るう新型コロナウイルスのニュースで持ち切りだとは思いますが、今回は新型コロナウイルスの暗いニュースではなく、ピンチをチャンスに変えるニュースをお伝えしたいと思っています。

今回の新型コロナウイルスの影響によって世の中ではある働き方改革が進められています。皆様もすぐに思いつく「テレワーク」の話題です。テレワークを簡単に説明すると、職場に出社せず遠隔地より仕事を

-GREETING- 編集長 白石 尚寛

皆さま、こんにちは。編集長の白石尚寛です。コロナの影響がどこまで拡大するか、どこまで影響するのか、どう向き合っていくか、そして、自身として会社として何が出来るかを常々考えては苦悩しています。

コロナの中で、やれることをやろうと3月からWEB会議を導入しました。今までリモートを意識していませんでしたが、かなり便利です。そして、4月、今年には新入社員が8名入社してくれました。

を行うことの総称です。もちろん新型コロナウイルスは危険な存在で正しく恐れる必要のあるものです。しかし、この難局にしっかりと職員の働き方を見つめ直した企業が次の局面で大きな飛躍を遂げるのではないのでしょうか。

イメージイラスト

彼らからの大きな期待を遥かに超えるような素敵な会社をみんなと創り上げていきたいと思っております。

入社式

テレワークに必要なネット環境やカメラ・マイクなどで普及している世の中ですので思い切ってテレワークの普及を進めてみてはいかがでしょうか。次号ではもっと面白い話題を届けられることを祈っております。それではまた次号でお会いしましょう。

営業部 貴田 康弘

こんな時だからこそ気持ちだけは、とことん前向き、とことん明るくいきたいです。

WEB会議

編集長 白石 尚寛